

広島県歯科技工士会 2025 年度 生涯研修 基本研修課程

開催コード 100-13301 (5 単位)

- 【開催日時】 2025 年 10 月 19 日 (日) 12:20 開場
- 【開演】 13 : 00 時～16:00 時
- 【会場】 広島県歯科医師会館 501・502 会議室
- 【主催】 一般社団法人 広島県歯科技工士会
- 【後援】 厚生労働省・広島県・広島市

広島県歯科技工士会 2025 年度 生涯研修 基本研修課程

12 : 20	受付開始 プログラム配布
12 : 55	開会の辞 広島県歯科技工士会会長 白井政博
教養課程 13:00～	技工サイドからのデジタル化の現状と未来 日技認定講師 陸 誠
	休憩
専門課程 ～16 : 00	歯科技工におけるデジタルは我々をどこに連れて行くのか 日技認定講師 陸 誠
	閉会の辞 広島県歯科技工士会 学術部 平見 康雄

【注意事項】

- 講演中の録音や撮影は固くお断りいたします。
- 会場内及びロビーを含めて禁煙となっております。喫煙される方は所定の場所をお願いいたします。
- 講演中は、携帯電話の電源はお切りいただくか、マナーモードに設定してください。
- 風邪のような症状がある方、発熱がある方、および発熱が数日間続いている方、だるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある方はご無理のないご判断をお願いいたします。
- 体調に不安がなくとも、ご高齢者・基礎疾患（糖尿病・心不全・呼吸器疾患等）をお持ちの方は、慎重なご判断をお願いいたします。
- マスクは正しく着用し、口・鼻を確実に覆うようにしてください。
- 会場は室温が下がらない程度に窓を開け換気などに注意して開催いたします。

一般社団法人 公式LINE QRコード

広島県歯科技工士会では公式LINE アカウントを作成し、LINE を利用して会員の皆様に研修会やイベントの情報など随時発信しております。

LINE をご利用されている会員の皆様は、ぜひこの機会に以下の QR コードか友だち追加ボタンよりご登録ください。QR コードをスキャンすると LINE の友だちに追加されます。



公式LINEについて

登録者の氏名やプロフィールはわからないようになっていますのでプライバシーについては守られます。

◆講師紹介◆

氏 名

陸 誠（くが まこと）

株式会社コアデンタルラボ横浜 代表取締役

神奈川県歯科技工士会・日技認定講師

略歴

1978 年 大阪歯科学院専門学校卒業

同年 （株）クワタパシメント勤務

1983 年 （株）コアデンタルラボ横浜勤務

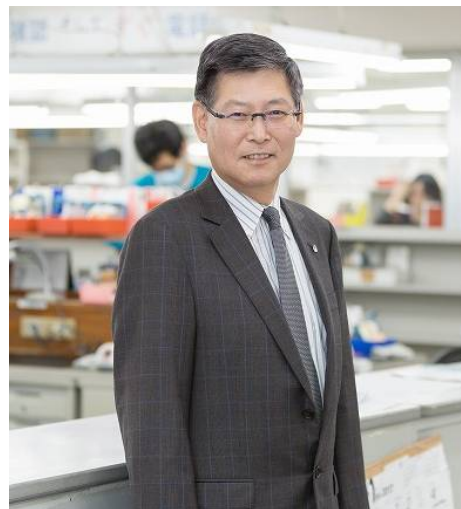
1988 年 日本歯科技工士会認定講師

2006 年 （株）コアデンタルラボ横浜 専務取締役

2010 年 （株）コアデンタルラボ横浜 代表取締役副社長

2011 年 （株）コアデンタルラボ横浜 代表取締役社長

現在に至る



所属・認定技工士等

日本歯科技工士会認定講師

日本歯科技工学会会員

日本補綴歯科学会会員

日本歯科審美学会会員

日本デジタル歯科学会理事

日本歯科理工学会会員

日本口腔インプラント学会会員

◆講演抄録◆

教養課程 「技工サイドからのデジタル化の現状と未来」

陸 誠 （神奈川県歯科技工士会・日技認定講師）

歯科業界におけるデジタル化の進歩は、補綴物の製作方法も大きく変化させてきており、歯科技工領域にも大きな影響を与えてきている。現在多くのメーカーより歯科用 CAD/CAM や 3D プリンターのシステムが発売され、従来の手作業よりも良いものができ、さらに手作業では加工できなかった材料が利用でき、品質の均一化と作業環境の改善など多くの利点があり、もはや技工作業にはなくてはならない存在になったといっても過言ではない。インプラントシステムの普及に伴ってカスタムアバットメントや、インプラントブリッジのフレームワークにも利用されている。天然歯支台においては、高透過性のグラデーションタイプのジルコニアディスクをはじめ、各種焼結前の着色剤の活用によって、ジルコニア単体でのフルジルコニア(モノリシック)クラウンの臨床応用も多く、かなり審美領域にまで利用できるレベルへとようになってきている。

専門課程 「歯科技工におけるデジタルは我々をどこに連れて行くのか」

陸 誠 （神奈川県歯科技工士会・日技認定講師）

近年は、口腔内スキャナー (I.O.S.)からのダイレクトな口腔内のデータからの補綴装置製作方法に変わろうとしてきている。しかし、まだまだ各メーカーで統一された規格ではなく、このあたりの整理も必要となってくる。今後の歯科界の機械化(デジタル化)の環境は、デジタルにて一直線で一気通貫となる事は間違いない。「我々がどのように機械を使い、何をしたいか」という事をしっかり考えると共に、「今後、我々の手作業として残り、付加価値の高い作業はいったいどのあたりか」ということを意識し、前向きに機械化(デジタル化)へ向き合っていかなければならない。今後、歯科技工はコンピューター化(AI)により、機械化はどのように進んで行くのであろうか?また、現状のデジタル化されていく技工の流れをくみながら、今私共の環境の中でどのような変化が起こっており、どのように今後の方向性を考えているかなど、皆さんと共に考えられればと思っている。

- メモ -

歯科技工士生涯研修制度について

生涯研修には一度の研修で教養課程（歯科技工士としての職業倫理、必要な経営・労務管理や一般教養知識等）と専門課程（歯科補てつ物製作等の専門知識）を学べる「基本研修課程」と、都道府県技が企画した内容によって開催する「自由研修課程」に分かれています。そして、原則として基本研修課程（1研修5単位）は3年で15単位、自由研修課程（単位数は各研修によって異なります）は3年で30単位を取得すると1期修了となります。

なお、1年間に取得できる単位上限が基本研修5単位、自由研修13単位と決められており、それ以上取得した単位は有効取得単位にはカウントされません。また、猶予措置として、4年または5年で修了に必要な単位を取得された場合にも1期修了となるしくみになっています（5年を越えた取得単位は消滅します）。

修了パターンを示しますので、ご参考にして下さい。

生涯研修受講修了年度（例）

	研修課程	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	修了年度	備 考
①	基 本	5	5	5	5	5	5		2015 第1期修了	3年間で修了するパターン
	自 由	10	10	10	10	10	10		2018 第2期修了	
②	基 本	5	5	5	0				2016 第1期修了	4年間で修了するパターン
	自 由	10	0	10	10					
③	基 本	5	0	5	5	0			2017 第1期修了	5年間で修了するパターン
	自 由	10	0	0	10	10				
④	基 本	5	5	5	0	5	5	5	2016 第1期修了	自由研修課程は、年間13単位を限度とする。 基本研修課程は、年間5単位を限度とする。 * 修了確定後の残余単位は次期に繰越せない。
	自 由	10	(18)	5	3	(25)	(20)	4	2019 第2期修了	
	基 本	5	13 (5+5)	0	5	13	13		2016 第1期修了	
⑤			5							
	自 由	10	10	10	10*					
⑥	基 本	5	5	0	5	0	0	5		修了できないパターン * 何れの5年間でも所定単位に満たない。
	自 由	10	0	5	0	10	5	10		
⑦	基 本	5	5	0	5	5	0		2018 第1期修了	【A】を始期とする5年間は未修了 【B】を始期とする5年間は修了
	自 由	5	10	5	0	5	10			
	【A】 【B】					【A】 【B】				